

## 1. 媒体作成条件

項番	項 目	内 容					
1	作 成 単 位	同一料金月、同一支払期限でお客さま単位（会社コード単位）					
2	作成対象サービス	統合請求（専用線サービス契約分を収録します）					
3	F D の サ イ ズ	3. 5 インチ					
4	フォーマット形式	2 H D		2 D D		C D - R	M O
		1. 25MB	1. 44MB	640KB	720KB	650MB	128MB
5	標準最大出力件数 （圧縮希望時）	2000 レコード （16, 000）	2, 400 レコード （19, 200）	1, 000 レコード （8, 000）			
6	使 用 コ ー ド	J I S 漢字コード：シフト J I S					
7	レ コ ー ド 長	可変長。（復帰改行コードが追加されます）					
8	フ ァ イ ル 形 式	テキスト形式・項目名付 C S V （1 枚に収容しきれない場合は、同一ファイル名で複数枚作成します。）					

注：項目名付 C S V 形式とは。レコードの先頭に項目名のみの項目名レコードを編集し、その後ろにデータレコードを編集する形式です。レコードの編集形式は以下のとおりとなっています。

- （1）項目と項目の間をカンマ（,）で区切ります。
- （2）1レコードの最終項目編集後、復帰改行（C R L F）を付加します。
- （3）数値項目（件数・金額等）以外の場合は、そのデータをダブルクオート（" "）で囲みます。（例：" A B C D "）
- （4）数値項目（件数・金額）以外の場合で、データが省略されている場合は半角のスペースを編集し、ダブルクオートで囲みます。（例：" "）
- （5）数値項目の場合は、有効数字のみ編集します。
- （6）数値項目の場合で、データが省略されている場合は、半角のゼロのみ編集します。（例：..., 0, ...）
- （7）標準最大出力件数は、F D への出力方法により変動します。

## &lt;圧縮について&gt;

お客様提供データの圧縮希望時は、フリーソフトウェアの「高圧縮書庫管理プログラム L H A」を使用し、自己解凍形式（プログラム形式）で圧縮しています。

圧縮したデータの解凍手順… ① パソコンのハードディスクにコピーする。  
② ファイルを実行する。  
以上で圧縮したデータが自動的に解凍されます。

（\*フリーソフトウェア：著作権は放棄されていないが、使用は自由なソフトウェア）

## 2. ファイル構成

### (1) 作成するファイル

ファイル名称	ファイル名
管理ファイル	S O O O O O 0 1. C S V
ヘッダファイル	S O O O O O 1 1. C S V
データファイル	S O O O O O 1 2. C S V
トレーラファイル	S O O O O O 1 3. C S V
エンドファイル	S O O O O O 2 1. C S V
請求単位ファイル	S O O O O O 8 1. C S V
会社合計ファイル	S O O O O O 9 1. C S V

注1：F D 2 枚以上にまたがるファイルは、データファイルのみです。

注2：作成するファイル名の構成

S   O O O O O   × ×   .   C S V  
 \*1   \*2                      \*3                      \*4

- 1 「S」：専用線番号別明細内訳書の表示
- 2 弊社が付与する会社識別コード（数字5桁）
- 3 ××：データ種類（圧縮の場合はF D作成連番01～99）
- 4 C S V：ファイル拡張子（圧縮の場合は「E X E」）

- ・圧縮の場合は、××にF D作成通番01～99、ファイル拡張子「E X E」のファイルを作成しますが、自動解凍後に上記のとりのファイルになります。
- ・圧縮ファイルが複数枚となった場合に、同じホルダ内で解凍すると、データファイルは、1枚目からN枚目全て同じファイル名で解凍されますので後から解凍したファイルで上書きされます。複数枚になった場合は、ホルダを変えて解凍して下さい。

### (2) F Dへの収容方法

#### ①1 枚目

管理ファイル、ヘッダファイル、トレーラファイル、エンドファイル、請求単位ファイル、会社合計ファイルを収容してから、データファイルを収容件数が、最大出力件数（F Dのフォーマット形式毎に定めた、F Dに収容可能な最大件数）になるまで収容します。

#### ②2 枚目以降

1 枚目に収容しきれなかった場合、残りのデータファイルを2 枚目以降のF Dに順次収容します。最大 99 枚まで収容可能です。

※項目名レコードについては、作成しません。

(3) ファイル関連図

●管理ファイル

利用会社 3 = N T T コミュニケーションズ

●ヘッダファイル

ヘッダレコード 1 番目		ヘッダレコード N 番目
利用会社 3	~	利用会社 3

●データファイル (専用線回線番号単位)

利用会社 3			
データレコード 1 番目	データレコード 2 番目	~	データレコード N 番目

●トレーラファイル (計上事業所単位)

ヘッダレコード 1	ヘッダレコード 2	~	ヘッダレコード N
トレーラレコード 1	トレーラレコード 2		トレーラレコード N

●エンドファイル (専用線 I D 単位)

エンドレコード 1 番目	エンドレコード 2 番目	~	エンドレコード N 番目
--------------	--------------	---	--------------

●請求単位ファイル

請求単位レコード 1 番目	請求単位レコード 2 番目	~	請求単位レコード N 番目
---------------	---------------	---	---------------

●会社合計ファイル

## 3. レコードフォーマット

各ファイルのレコード形式

## (1) 管理レコード

レコード区分	会社コード	年月群	媒体通番	網種別	媒体識別	請求回数	詳細群
[01]							
2	5	7	2	1	3	1	1

## (2) ヘッダレコード

レコード区分	計上事業所コード	企業等コード	付加コード	会社識別	作成年月日	請求年月	支払い期限	ご請求番号	年月群
[11]									
2	8	7	5	30	8	6	8	10	7

## (3) データレコード（専用線回線番号単位）

レコード区分	回線ID	地域区分コード	会社識別	申込内容	開通年月日	承諾年月日	承諾番号	回線名・上位事業所名	回線名・下位事業所名	回線名・分岐名	回線名・分類名	回線名・回線番号	回線名・回線種類	回線名・回線符号コード	お客さま管理番号	合計金額	基本回線専用料	分岐回線専用料
[12]																		
2	9	2	30	14	8	8	11	50	50	40	14	5	16	3	16	12	12	12

分岐料	多重アクセス減額料	長期利用割引額	高額利用割引額	予備	機械専用料	配線設備専用料	回線終端装置専用料	その他の専用料	日割額	工事に関する費用	加減算額	消費税相当額	予備	予備	予備	予備	計上事業所コード	専用線ID	ご請求番号	年月群
12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	8	12	10	7

## (4) トレーラレコード (計上事業所単位)

レコード区分	合計金額	基本回線専用料	分岐回線専用料	分岐料	多重アクセス減額料	長期利用割引額	高額利用割引額	予備	機械専用料	配線設備専用料	回線終端装置専用料	その他の専用料	日割額	工事に関する費用	加減算額	消費税相当額
[13]																
2	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12

延滞利息	回線数計	予備	予備	予備	予備	計上事業所コード	会社識別	専用線 I D	ご請求番号	年月群
12	7	12	12	12	12	8	30	12	10	7

## (5) エンドレコード (専用線 I D 単位)

レコード区分	合計金額	基本回線専用料	分岐回線専用料	分岐料	多重アクセス減額料	長期利用割引額	高額利用割引額	予備	機械専用料	配線設備専用料	回線終端装置専用料	その他の専用料	日割額	工事に関する費用	加減算額	消費税相当額	延滞利息
[21]																	
2	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12

予備 1	予備 2	予備 3	回線数計	予備	予備	予備	予備	専用線 I D	ご請求番号	年月群
7	1	7	7	12	12	12	12	12	10	7

(6) 請求単位レコード (ご請求番号単位)

レコード区分	ご請求番号	金融機関コード	口座区分	口座番号	ご請求番号合計金額	ご請求番号合計件数	年月群
[81]							
2	10	7	1	7	10	5	7

(7) 会社合計レコード

レコード区分	会社コード	会社合計請求額	会社合計請求件数	年月群
[91]				
2	5	10	5	7

## 4. レコード内容

## (1) 管理レコード

項番	項目名	区別	桁数	内 容
1	レコード区分	文字	2	“01”
2	会社コード	文字	5	弊社がお客さま単位に設定した番号 例：30009
3	年 月 群	文字	7	2001年8月C群→“2001083”
4	媒体通番	文字	2	“01” 固定。
5	網 種 別	文字	1	“3”＝専用線を設定。
6	媒体識別	文字	3	出力媒体を設定。 FD…「FD」 MO…「MO」 CD-R…「CDR」 ビリングステーション（注1）をご契約の場合… 「BS」
7	請求回数	文字	1	同一請求番号で、同一月内に請求書発行した回数 （料金群変更時等） ＊ 再発行は対象外請求回数を設定。
8	詳細群	文字	1	詳細群を“A”～“V”、“0”～“9”で設定。 詳細はコード表「項番5、料金群・詳細群」参照

（注1）：ビリングステーションとは、電話等サービスの「料金・通話明細データ」を  
専用 Web サーバーからダウンロードできるオンラインサービスです。

## (2) ヘッダレコード

項番	項目名	区別	桁数	内 容
1	レコード区分	文字	2	“11”
2	計上事業所コード	文字	8	NTT管轄事業所コードを設定。
3	企業等コード	文字	7	企業等コード（専用線ID番号の前7）設定。
4	付加コード	文字	5	付加コード（専用線ID番号の後5桁）設定。
5	会社識別	文字	30	ご利用の会社名を設定。 “NTTコミュニケーションズ 株式会社”
6	作成年月日	文字	8	2001年8月12日→“20010812”
7	請求年月	文字	6	2001年8月分→“200108”
8	支払い期限	文字	8	2001年8月31日→“20010831”
9	ご請求番号	文字	10	ご請求番号を設定 例：“0001234567”
10	年 月 群	文字	7	2001年8月C群→“2001083”

(3) データレコード  
(専用線回線番号単位)

項番	項目名	区別	桁数	内 容
1	レ コ ー ド 区 分	文字	2	“12”
2	回 線 I D	文字	9	専用線回線番号を設定。
3	地 域 区 分 コ ー ド	文字	2	当該専用線の計上事業所コードの前2桁を設定。
4	会 社 識 別	文字	30	ご利用の会社名を設定。
5	申 込 内 容	文字	14	新規申込、移転時のみ設定。
6	開 通 年 月 日	文字	8	2001年8月31日→“20010831” 新規申込、移転時のみ設定。 上記以外、オール“0”。
7	承 諾 年 月 日	文字	8	2001年8月31日→“20010831” 新規申込、移転時のみ設定。 上記以外、オール“0”。
8	承 諾 番 号	文字	11	新規申込、移転時のみ設定。 上記以外、オール“0”。
9	回 線 名 : 上 位 事 業 所 名	文字	50	回線の上位(起点)事業所名を設定。
10	回 線 名 : 下 位 事 業 所 名	文字	50	回線の下位(終点)事業所名を設定。
11	回 線 名 : 分 岐 名	文字	40	分岐事業所名を設定。
12	回 線 名 : 分 類 名	文字	14	品目名称を設定。
13	回 線 名 : 回 線 番 号	文字	5	回線番号を設定。
14	回 線 名 : 回 線 種 類	文字	16	回線種別名を設定。
15	回 線 名 : 回 線 符 号 コ ー ド	文字	3	識別符号コードを設定。通常“000”。
16	お 客 さ ま 管 理 番 号	文字	16	お客さまが任意に設定した番号。
17	合 計 金 額	数字	12	回線単位の合計金額を設定。 ・ マイナス金額の場合、符号付編集(コード表「項番4、 内訳額マイナス時の記録形式について」参照)
18	基 本 回 線 料	数字	12	該当回線の基本回線専用料を設定。
19	分 岐 回 線 料	数字	12	該当回線の分岐回線専用料を設定。
20	分 岐 料	数字	12	該当回線の分岐料を設定。
21	多 重 ア ク セ ス 減 額 料	数字	12	該当回線の多重アクセス減額料を設定。
22	長 期 利 用 割 引 額	数字	12	該当回線の長期利用割引額。
23	高 額 利 用 割 引 額	数字	12	該当回線の高額利用割引額を設定。
24	予 備	文字	12	初期値を設定。
25	機 械 専 用 料	数字	12	該当回線の機械専用料を設定。
26	配 線 設 備 専 用 料	数字	12	該当回線の配線設備専用料を設定。
27	回 線 終 端 装 置 専 用 料	数字	12	該当回線の回線終端装置専用料を設定。
28	そ の 他 の 専 用 料	数字	12	該当回線のその他専用料を設定。
29	日 割 額	数字	12	該当回線の日割額を設定。
30	工 事 に 関 す る 費 用	数字	12	該当回線の工事に関する費用を設定。
31	加 減 算 額	数字	12	該当回線の加減算額を設定。
32	消 費 税 相 当 額	数字	12	該当回線の消費税相当額を設定。
33	予 備	文字	12	
34	予 備	文字	12	
35	予 備	文字	12	
36	予 備	文字	12	
33	計 上 事 業 所 コ ー ド	文字	8	N T T 管 轄 事 業 所 コ ー ド を 設 定 。
34	専 用 線 I D	文字	12	企業等コード(7桁)+付加コード(5桁)
35	ご 請 求 番 号	文字	10	ご請求番号を設定 例: “0001234567”
36	年 月 群	文字	7	2001年8月C群→“2001083”



## (4) トレーラレコード

(計上事業所単位)

項番	項目名	区別	桁数	内 容
1	レコード区分	文字	2	“13”
2	合計金額	数字	12	計上事業所単位の合計金額を設定。
3	基本回線専用料	数字	12	計上事業所単位の基本回線専用料を設定。
4	分岐回線専用料	数字	12	計上事業所単位分岐回線専用料を設定。
5	分岐料	数字	12	計上事業所単位の分岐料を設定。
6	多重アクセス減額料	数字	12	計上事業所単位の多重アクセス減額料を設定
7	長期利用割引額	数字	12	計上事業所単位の長期利用割引額を設定。
8	高額利用割引額	数字	12	計上事業所単位の高額利用割引額を設定。
9	予備	文字	12	初期値を設定。
10	機械専用料	数字	12	計上事業所単位の機械専用料を設定。
11	配線設備専用料	数字	12	計上事業所単位の配線設備専用料を設定。
12	回線終端装置専用料	数字	12	計上事業所単位の回線終端装置専用料を設定
13	その他の専用料	数字	12	計上事業所単位のその他専用料を設定。
14	日割額	数字	12	計上事業所単位の日割額を設定。
15	工事に関する費用	数字	12	計上事業所単位の工事に関する費用を設定。
16	加減算額	数字	12	計上事業所単位の加減算額を設定。
17	消費税相当額	数字	12	計上事業所単位の消費税相当額を設定。
18	延滞利息	数字	12	初期値を設定。
19	回線数計	数字	7	計上事業所単位の専用線回線数合計を設定。
20	予備	文字	12	
21	予備	文字	12	
22	予備	文字	12	
23	予備	文字	12	
24	計上事業所コード	文字	8	NTT管轄事業所コードを設定。
25	会社識別	文字	30	ご利用の会社名を設定。
26	専用線ID	文字	12	企業等コード(7桁)+付加コード(5桁)設定。
27	ご請求番号	文字	10	ご請求番号を設定 例：“0001234567”
28	年月群	文字	7	2001年8月C群→“2001083”

(5) エンドレコード  
(専用線 I D 単位)

項番	項目名	区別	桁数	内容
1	レコード区分	文字	2	“21”
2	合計金額	数字	12	専用線 I D 単位の合計金額を設定。
3	基本回線専用料	数字	12	専用線 I D 単位の基本回線専用料を設定。
4	分岐回線専用料	数字	12	専用線 I D 単位の分岐回線専用料を設定。
5	分岐料	数字	12	専用線 I D 単位の分岐料を設定。
6	多重アクセス減額料	数字	12	専用線 I D 単位の多重アクセス減額料を設定。
7	長期利用割引額	数字	12	専用線 I D 単位の長期利用割引額を設定。
8	高額利用割引額	数字	12	専用線 I D 単位の高額利用割引額を設定。
9	予備	文字	12	初期値を設定
10	機械専用料	数字	12	専用線 I D 単位の機械専用料を設定。
11	配線設備専用料	数字	12	専用線 I D 単位の配線設備専用料を設定。
12	回線終端装置専用料	数字	12	専用線 I D 単位の回線終端装置専用料を設定。
13	その他の専用料	数字	12	専用線 I D 単位のその他専用料を設定。
14	日割額	数字	12	専用線 I D 単位の日割額を設定。
15	工事に関する費用	数字	12	専用線 I D 単位の工事に関する費用を設定。
16	加減算額	数字	12	専用線 I D 単位の加減算額を設定。
17	消費税相当額	数字	12	専用線 I D 単位の消費税相当額を設定。
18	延滞利息	数字	12	専用線 I D 単位の延滞利息を設定。
19	予備 1	文字	7	初期値を設定。
20	予備 2	文字	1	初期値を設定。
21	予備 3	文字	7	初期値を設定。
22	回線数計	数字	7	専用線 I D 単位の専用線回線数合計を設定。
23	予備	文字	12	
24	予備	文字	12	
25	予備	文字	12	
26	予備	文字	12	
27	専用線 I D	文字	12	企業等コード(7桁)+付加コード(5桁)設定。
28	ご請求番号	文字	10	ご請求番号を設定 例: “0001234567”
29	年月群	文字	7	2001年8月C群→“2001083”

(6) 請求単位レコード  
(ご請求番号単位)

項番	項目名	区別	桁数	内容
1	レコード区分	文字	2	“81”
2	ご請求番号	文字	10	ご請求番号を設定 例: “0123456789”
3	金融機関コード	文字	7	口座振替の場合の金融機関コードを設定。
4	口座区分	文字	1	口座振替の場合の口座区分を設定。 “1”=普通 “2”=当座
5	口座番号	文字	7	口座振替の場合の口座番号を設定。
6	ご請求番号合計金額	数字	10	請求番号単位の請求額を設定。
7	ご請求番号合計件数	数字	5	請求番号単位の専用線回線数を設定。
8	年月群	文字	7	2001年8月C群→“2001083”

(7) 会社合計レコード

項番	項 目 名	区別	桁数	内 容
1	レ コ ー ド 区 分	文字	2	“91”
2	会 社 コ ー ド	文字	5	お客さまを識別するコードを設定。
3	会 社 合 計 請 求 額	数字	10	会社合計請求額を設定。
4	会 社 合 計 請 求 件 数	数字	5	会社合計専用線数(請求件数)を設定。
5	年 月 群	文字	7	2001年8月C群→“2001083”